

# 入札公告

下記のとおり一般競争に付すので公告します。

1. 入札事項 インターネットサーバシステム 一式
2. 調達案件の仕様等 分任契約担当役が入札説明書で指定する内容等であること
3. 納入期限 平成24年3月30日
4. 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の5パーセントに相当する金額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は見積もった契約金額の105分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
5. 競争参加資格
  - 1) 独立行政法人 国立文化財機構契約事務取扱細則（以下「取扱細則」という。）第4条及び第5条に該当しないものであること。
  - 2) 国の競争参加資格（全省庁統一資格）において平成23年度に「物品の製造」又は「物品の販売」のA、B、C及びD等級に格付けされている者であること。
  - 3) 本機構から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
6. 入札説明書の交付 本公告の日から下記の場合にて、交付する。  
独立行政法人 国立文化財機構  
東京文化財研究所研究支援推進部管理室 電話 03-3823-2246
7. 入札書の受領期限 平成24年2月15日（水） 17時00分
8. 開札の日時及び場所 平成24年2月22日（水） 15時00分  
独立行政法人 国立文化財機構  
東京文化財研究所地下会議室
9. 入札の無効 競争参加資格を有しない者のした入札書及び入札の条件に違反した入札書、その他取扱細則第17条に掲げる記載がない入札書
10. 入札の条件
  - 1) 別添「競争加入者心得」のとおり
  - 2) 郵便による入札は、認めないものとする。
  - 3) 入札保証金は、免除とする。
11. 契約条件 別紙「契約書（案）」及び「取扱細則」及び契約情報公表に必要な事項に関する取扱いのとおりとする。
12. 契約保証金 免除
13. 契約書の作成 契約の締結に当たっては、契約書を作成するものとする。
14. 問合せ先 独立行政法人 国立文化財機構  
東京文化財研究所研究支援推進部管理室（契約担当）  
電話 03-3823-2246

平成24年1月26日

分任契約担当役  
独立行政法人 国立文化財機構  
東京文化財研究所長 亀井伸雄



インターネットサーバシステム 一式

仕 様 書

独立行政法人国立文化財機構

東京文化財研究所

東京文化財研究所では平成 18 年度にインターネットサーバシステムとして DNS/Web システムとプロキシシステムの導入を行っている。現在のシステムは、導入後 5 年以上が経過しており、安定した運用が困難になっている。そこで、安定運用ができ、時流に沿った DNS/Web システム及びプロキシシステムを導入することとした。

以下にそのシステム要件について記載する。

## 1. 調達機器

- ・ DNS/Web システム 1 式
- ・ プロキシシステム 1 式
- ・ ネットワーク/サーバ機器管理システム 1 式

## 2. 機能/運用要件

### 2.1 DNS/Webシステム

- ・ 所内に DNS サービスを提供できるシステムにすること。
- ・ 既存 DNS サーバに登録されているレコード及び設定は全て引き継ぐこと。
- ・ 既存 DNS サーバ（マスターサーバ）と連携がとれるようにすること。
- ・ 既存 Web サーバに登録されているコンテンツ及び設定は全て引き継ぐこと。
- ・ 既存ネットワーク不正接続端末検出装置 (TrustWave 社 Mirage N-145) の設定により、本調達機器が不正端末の対象外になるように設定を行うこと。
- ・ 所内 LAN と接続できるように、必要に応じて基幹スイッチである Nortel 社製 (現 Avaya 社製) Ethernet Routing Switch 5530、Ethernet Routing Switch 5510 の設定変更を行うこと。
- ・ 本システムは既設の管理端末 (Microsoft 社 Windows XP Professional) 上で運用管理が可能なこと。また運用管理のため、所外のネットワーク回線を利用して、セキュアな通信環境下で本システムへアクセスできる環境を構成すること。

### 2.2 プロキシシステム

- ・ 端末のインターネット利用の際 http、https、ftp などのプロトコルにおいてプロキシサービスを行うこと。
- ・ 運用開始後に起こりうる問題を軽減するために、新規プロキシシステムと既存プロキシシステムとで並行運用ができるようにすること。
- ・ 当研究所の指示に従い、既存 DNS サーバへのレコード追加及び既存のファイアウォール (McAfee 社 SideWinder 510D) のルール変更を行うこと。
- ・ 既存ネットワーク不正接続端末検出装置 (TrustWave 社 Mirage N-145) の設定により、本調達機器が不正端末の対象外になるように設定を行うこと。
- ・ 所内 LAN と接続できるように、必要に応じて基幹スイッチである Nortel 社製 (現 Avaya 社

製)EthernetRoutingSwitch5530、EthernetRoutingSwitch5510 の設定変更を行うこと。

- ・本システムは既設の管理端末 (Microsoft 社 WindowsXP Professional) 上で運用管理が可能なこと。また運用管理のため、所外のネットワーク回線を利用して、セキュアな通信環境下で本システムへアクセスできる環境を構成すること。

### 2.3 ネットワーク/サーバ機器管理システム

- ・既存ネットワーク機器 (L3 スイッチ : 4 台、L2 スイッチ : 9 台、ファイアウォール : 1 台、ネットワーク監視装置 : 1 台)、既存サーバ機器 (DNS/Mail サーバ : 3 台、DNS/Web サーバ : 1 台、プロキシサーバ : 1 台、スパム対策サーバ : 2 台、ウィルス対策サーバ : 1 台、リバースプロキシサーバ : 1 台、DHCP サーバ : 2 台) の管理ができるシステムにすること。

- ・既存ファイアウォール (McAfee 社 SideWinder510D) の運用管理のため、管理ソフトウェア (McAfee Firewall Enterprise Admin Console) の導入を行うこと。

- ・既存メールシステム (カスタム・テクノロジー社 CP Messaging Server) の運用管理のため、管理ソフトウェア (Management Center) の導入を行うこと。

- ・既存ネットワーク不正接続端末検出装置 (TrustWave 社 Mirage N-145) の運用管理のため、管理ソフトウェア (Management Operations Console) の導入を行うこと。

- ・既存 L3/L2 スイッチの運用管理のため、専用管理ソフトウェア (Nortel 社 Device Manager) の導入を行うこと。

- ・運用管理のため、所外のネットワーク回線を利用して、セキュアな通信環境下で本システムへアクセスできる環境を構成すること。

## 3. 機器仕様

### 3.1 DNS/Webシステム

- ・19インチラックに搭載可能であり、1U以内であること。
- ・CPUとしてインテルXeon E5620 (2.40GHz) 相当以上を1個有すること。
- ・主記憶装置は6GB以上有すること。また最大384GBのメモリが搭載可能であること。
- ・ハードディスク装置は物理容量300GB以上のSASディスクドライブを2個以上有すること。
- ・ハードディスクはRAID構成とし、RAID 1 とすること。
- ・内蔵DVD-RWドライブを有すること。
- ・10BASE-T/100BASE-TX/1000Base-TのEthernetインターフェースを4ポート以上有すること。
- ・USB2.0のインターフェースを4ポート以上有すること。
- ・80PLUS-Gold認定相当の電源装置を2個有すること。
- ・オペレーティングシステムはRedHat Enterprise Linux Server 5以降であること。
- ・DNSはbind 9.8以降を導入し、既存DNSサーバの設定を引き継ぐこと。
- ・HTTPサービスとしてApacheを利用すること。
- ・NTPDタイムサーバに接続して時刻の同期が取れる機能を有すると判断されること。

- ・セキュリティ対策として、TCP Wrapperを利用したアクセス制御を行うこと。
- ・5年間のハードウェア保守を見積りに含めること。また修理交換により取り外されたハードディスクドライブは研究所にて管理、保管が可能なこと。
- ・機器には5分以上の電源供給が可能なUPSを見積りに含むこと。

### 3.2 プロキシシステム

- ・アプライアンス製品であること。
- ・メモリ：4GB 以上
- ・ディスク：容量 250GB 以上×2 台を RAID1 構成にすること。
- ・ネットワーク：10/100/1000Base-T ×5 ポート以上装備すること。
- ・1台でレイヤ4トラフィックモニタ機能、URLフィルタ機能、ウェブレピュテーションフィルタ機能、アンチマルウェア機能、ウェブプロキシ・キャッシュ機能、HTTPS 通信の復号化機能、DLP 機能、ポリシーマネジメント機能を有する構成が可能なこと。
- ・接続ユーザ数として 200 人以上の接続が可能なこと。
- ・Web コンテンツの中身をスキャンし、マルウェア（ウイルス、ワーム、トロイの木馬、スパイウェア、アドウェア等）を検知しブロックできる機能を有すること。
- ・ウェブレピュテーションフィルタ機能により、悪意ある Web サイトへの接続をブロックする機能を有すること。
- ・ブラウザ（HTTP 及び HTTPS）を使用した GUI による管理機能を提供し、GUI は日本語を含む複数言語に対応していること。
- ・SSH、シリアル接続を使用したコマンドラインでの管理機能を提供すること。
- ・SNMP による管理機能に対応していること。
- ・ログを外部サーバに保管できること。
- ・機器は 19 インチラックマウント可能であること。
- ・機器には5分以上の電源供給が可能なUPSを見積りに含むこと。

### 3.3 ネットワーク/サーバ機器管理システム

- ・CPUとしてインテル Core i5-2400 プロセッサ(3.10 GHz)相当以上を1個有すること。
- ・主記憶装置は8GB以上有すること。
- ・ハードディスク装置は物理容量250GB以上のSerial ATAディスクドライブを1個有すること。
- ・内蔵DVD-ROMドライブを有すること。
- ・USB2.0のインターフェースを10ポート以上有すること。
- ・オペレーティングシステムはMicrosoft Windows 7 Professional以降であること。
- ・Microsoft Office Personal 2010のライセンスを見積りに含めること。
- ・5年間のハードウェア保守を見積りに含めること。また修理交換により取り外されたハードディスクドライブは研究所にて管理、保管が可能なこと。

- ・21.5インチワイド画面モニターを見積もりに含めること。

#### 4. 設置作業

- ・既設 LAN ラックへ設置すること。
- ・機器据付、配線作業を行うこと。
- ・配線部材を用意すること。
- ・本装置の接続先となる L3 センタースイッチの設定変更を行い、本装置との接続試験を行うこと。
- ・構築後は、完成図書を提出すること。
- ・完成図書には以下の項目を含めること。
  - 1) 導入機器一覧
  - 2) 導入機器のシステム設定情報
  - 3) 設定変更を行った機器のシステム設定情報
  - 4) L3 センタースイッチのポートアサイン情報 (接続先パッチパネル, その他接続されている全ての機器が記載された情報)
  - 5) ラックマウント図、接続図およびシステム構成図

#### 5. 保守

- ・本調達に関わるハードウェア及びソフトウェア全般の年間保守は、別途調達予定であり、下記要件を想定している。
- ・期間は平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日。受付は平日 9:00～17:30 とすること。
- ・オンサイトによる保守を含めること。
- ・導入機器のハードウェア及びソフトウェア全般に関する研究所からの質問に対しての回答対応を含めること。
- ・最新版ソフトウェアの提供が含まれていること。

#### 6. 特記事項

- ・構築完了後は、システム変更を行った全ての機器に関する設置情報をすみやかに提示すること。
- ・本システムの応札者は、設定変更を行った全ての機器について、設定情報のバックアップを行い研究所に提出すること。

#### 7. 留意事項

- ・機能/運用要件、機器仕様、設置作業に記載されている内容を証明する資料には、以下の項目を明瞭に記載すること。
  - 1) システムの全体構成

- 2)要件を満たしていることを示すハードウェア/ソフトウェアの仕様と機能
- 3)個々の要件を満たすための具体的な方策（何をどのようにするのか具体的に記載すること）
- 4)導入機器の平面図
- 5)導入の作業日程と体制
  - ・機能/運用要件、機器仕様、設置作業に記載されている内容を満たしていないと判定された場合、不合格となり、落札決定の対象から除外する。
  - ・既存システムを破損させた場合には、その補修費用を供給者が全額負担すること。
  - ・障害発生時、既存機器保守ベンダーが、本システムの応札者による対応が必要であると判断した場合、すみやかに対応し障害復旧に努めること。

8. 納入場所 東京文化財研究所

9. 納入期限 平成24年3月30日